

# 掴め君の未来を!

令和4年11月号

慶進中学校・高等学校  
進学指導部  
令和4年11月1日発行

共通テストまで残り75日です。3年生は、クラスの雰囲気も受験色が非常に強まってくる頃です。もしかすると、不安や焦りからくるプレッシャーで苦しんでいる人がいるかもしれません。でも「受験は団体戦」という言葉がある通り、第1志望大学合格という同じ目標を持つ多くの仲間がいることを忘れずに。もちろん、保護者の方や慶進の先生も応援しています。自信を持って、勉強をがんばってください。また、そろそろ併願校受験を含めた受験計画を設定する時期になりました。「併願プランの原則」という記事を掲載していますので、参考してください。2年生は、11月になり、部活動や校外活動などで忙しい人も多いかと思いますが、毎日の学習はきちんとできているでしょうか。高校生活も後半戦を迎え、いよいよ皆さんも

「受験生」に変わる時期です。今の時期から志望校合格という目標を設定し、受験を意識した学習に取り組んでいきましょう。1年生は、いよいよ文理選択の調査が目前に迫ってきました。職業や学問の探究をした上で、入試科目を調べたり、先生や保護者とも相談したりして、納得のいく文理選択を行いましょう。



## ●大学入試トピックス 2023年度共通テスト志願者数速報値 (河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」の記事から抜粋)

2023年度大学入学共通テスト(以下、共通テスト)の出願は 10月6日が最終日であった。大学入試センターから発表された出願締切最終日17時現在の出願総数は479,348人となった。前年同日時点と比較すると22,633人減少(前年同日比:95%)した。内訳をみると、高等学校等卒業見込者(現役生)が415,713人(前年同日比:96%)と17,778人減少した。来春の18歳人口は約2.4万人減少(前年比:98%)となるため、18歳人口の減少率より高い減少率となった。河合塾が実施している全統模試においても、私大専願者を中心に 2022年度入試で難化した共通テスト離れの動きがみられ、出願数減少の一因となったとみられる。一方、高等学校等卒業生等(既卒生等)は4,855人減少して63,635人(同:93%)と、減少率の高さが目立つ。受験人口が本格的に減少してきたことに加え、2022年度入試では私立大で合格者数が大幅に増加しており、競争緩和の様子が色濃く表れていたことが要因とみる。それに加え、前年度入試における共通テスト難化の影響も受けて共通テストを回避する意図もあると思われる。なお2023年度の共通テストの追試験の日程は2022年度と同様、新型コロナウイルス等に罹患した志願者の受験機会を確保するため2週間後に設定された。また、追試験の会場は来春も全47都道府県に設置される。共通テストの確定志願者数は12月上旬に発表される予定である。

## ●小論文と面接の直前対策 (「大学受験パスナビ」旺文社のホームページの記事を基に作成)

### ① 小論文の直前対策

小論文は添削に足を運んだ数だけ力になる

小論文を書く上で大切なことは、①課題文を読み取る力をつけること、②志望する分野に関する知識を深めること、③繰り返し添削指導を受けることの3つです。これらの対策を進める中で、要約する力、自己の考えに具体性を持たせる知識、説得力のある論述や適切な文章表現が身につくはず。後は、志望する分野に関する記事や資料を整理し、入試直前まで使えるファイルを仕上げましょう。その時自分ならどう問題をとらえるか、自問しながら整理すると今までの復習になります。知識を深めるには、1つのテーマを複数の視点から記述している対論型の本を参照するのがオススメです。

不安な人は、直前まで先生に添削指導をしてもらいましょう。小論文の添削指導では、文章のつながりや表現、設問に沿った論理展開、根拠や具体例に説得力を持たせる方法など、多くの改善するポイントを先生に指摘してもらえます。何度も添削指導を受けることで、合格水準に達する小論文に改善していきましょう。また、論述や表現などのスキルだけでなく、指導の合間に話してくれる話題が緊張を解き、思考の幅を広げてくれます。

### ② 面接の直前対策

面接の流れを意識しつつ志望の熱意を伝えよう

面接には個人面接、集団面接、集団討論があります。共通していることは、明確な目標を持ち、入学後に大学で力を発揮できる受験生を大学が求めていることです。そのため、面接で大切なのは次の3つです。1つ目は、志望の熱意を伝えること。自分の経験に基づく志望理由や、目的を実現するために最適な環境であることを具体的に伝えます。2つ目は、面接の流れを捉えることです。個人面接では、面接官の質問の意図を外さないよう注意しましょう。集団討論では、全体の流れの中で自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き入れながら結論を導き出す協調性が求められていることを忘れずに。3つ目は、模擬面接を繰り返すことです。予想される質問は、質疑応答用のファイルに整理して学校の先生の添削指導を受け、ブラッシュアップさせましょう。面接練習を動画で撮影すると、態度や表情の確認ができます。自信が持てれば、集団面接でも周囲の緊張感に負けません。



(模擬面接の様子)

## ●先輩の合格体験記 一般選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

岡山大学医学部医学科 (中高一貫コース卒業)	山口大学経済学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学教育学部小学校総合 (グローバルコース卒業)
<b>【後輩へのメッセージ】</b> 努力は裏切らない・・・とよく言いますが、実際に報われる努力はおそらく3~4割ぐらいだと思います。しかし、努力が多ければ多いほど、報われる割合は低くても、報われる努力の数は多くなります。なので、たくさん努力をしてください。できるだけ上を目指して、めげずに走り続けてください。もうダメだ、と思った時、助けてくれるのは今までがんばった自分です。これからの受験期間、たくさんつらいことがあると思いますが、自分を信じて努力し続けられれば、いつか必ずなんとかなります。 <b>【共通テスト(センター試験)前の心境は】</b> “医学部なら9割”という強迫観念に囚われて、必要以上に緊張した気がします。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 最初は青チャートなどの個人的に難しいものを中心にやっていたのですが、成績はあまり上がりませんでした。そこで簡単な教材に切り替えて何回も反復したら、成績が上がりました。簡単な教材を完璧になるまでやるのが、とても大切だと思います。また、生活習慣を整えたら、メンタルが安定します。 <b>【共通テスト(センター試験)前の心境は】</b> 一番点数の伸びしろのある教科を中心に勉強しました。特に社会と理科の点数が低かったので、集中して詰め込みました。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 現役合格を目指すなら、遅くとも高校2年生から受験を意識した勉強を始めた方が良いでしょう。高校2年生から平日2h、休日3~4hを毎日コツコツやれば、忙しい部活生でも合格に近づけると思います。 <b>【共通テスト(センター試験)前の心境は】</b> 直前期は緊張を紛らわせるためにも、少しでも時間があれば、勉強した方が良いでしょう。私は、勉強していない時間に余計なことを考えて不安に襲われました。 <b>【二次試験直前の心境は】</b> 共通テストである程度、点数がとれたので、あまり緊張しませんでした。共通テストは本当に大切だと思いました。

## ●併願プランの原則 (『蛭雪時代2021年11月号』旺文社の記事を基に作成)

共通テストまであと少し。これからは第1志望校と併願校を絞り込み、効果的な併願プランを立てて受験に臨みたいところです。併願のメリットを最大限に生かし、デメリットを最小に抑えた理想的な併願プランで受験に臨み、第1希望合格をつかんでください。

### 第1志望校合格をつかむ併願プランニングの原則!

- 原則1 受験全体の軸となる第1志望校を明確にする**  
特に難関大を目指す場合、ここを明確にしたうえでプランニングすることが成功の大前提となる
- 原則2 入学する意思のある大学を併願し、無理な高難度受験を避ける**  
大学の情報を集めて、「行きたい併願校」を探そう。また、本命以外の無謀な挑戦は控えたい
- 原則3 第1志望校の受験&対策に集中できる状況をつくる**  
併願校の受験科目や受験スケジュールに注意。本命校の試験に万全の学力を臨めるようにしましょう
- 原則4 併願で手ごたえ・自信を得て、受かるノリをつくる**  
難関大入試の高いハードルを突破するには、「自分は合格できる!」というムード作りも大事
- 原則5 併願のメリットを最大化し、デメリットを最小化する**  
併願にはいろいろなメリットがある反面、デメリットもある。まずはそれぞれを理解しよう

### 併願のメリットとデメリット

- メリット** ①一発勝負の不安を軽減し、落ち着いて受験に臨める。②試験本番に慣れることで、実力を発揮しやすくなる。③高いハードルの大学にも臆せずに挑戦できる。
- デメリット** ①併願校の数が多くなると、試験対策の手間も増える。②併願校でも落ちると凹む、受かると気が緩む。③受験が続くと疲労が蓄積し、次の試験に悪影響を与える。

## ●地元大学研究会活動報告

「地元大学研究会」とは、山口県における若者流出を踏まえ、地元大学で学び、地元で働き、地元に貢献するという生き方を考えようという趣旨で始まりました。そして特に志望者の多い地元の国公立大学と、姉妹校(山口学芸大学・山口芸術短期大学)の教育活動や入試について研究し、志望者に対して体系的な指導をしていくことを活動内容としています。研究会への参加希望者を随時受けつけますので、進学指導部の担当教員に申し出てください。

~今年度のこれまでの活動~

- 第1回会合(オリエンテーション)【5月】
- 地元大学の校内入試説明会【6月】
- 地元大学生(慶進の卒業生)との懇談会【7月】
- 大学の先生による出前講義(6講義)【9月】
- 志望理由書、小論文、面接等の個別指導【随時】



(「大学の先生による出前講義」の様子)

## ●共通テスト模試 受験のすすめ

第3回進路模試が終わると、3年生はもう校内模試はありません。これから、各予備校が実施する「共通テスト直前模試」に申し込んでみましょう。共通テストは傾向がまだ掴めていない部分が多いので、色々な予想問題に当たっておくことは大事です。また、外部の試験会場の独特の雰囲気は、校内模試では経験できないものであり、外部受験の経験のない人は是非一度経験しておきましょう。特に、北予備の「共通テストファイナル」は、毎年、大半の3年生が受験しています。



## 11月スケジュール

- 4日(金)・5日(土) ベネッセ総合学力テスト(ⅠⅡ)
- 6日(日) 実用英語技能検定二次試験
- 12日(土) Literas 論理言語力検定
- 16日(水) 高大連携行事(ⅡG)
- 18日(金) 高大連携行事(ⅠG)
- 18日(金) アドバンスコーザ(ⅠⅡA)
- 19日(土) 進学ガイダンス(ⅠA)
- 21日(月) 期末試験日割発表
- 28日(月)~12月2日(金) 期末試験